

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 2月号



令和7年1月31日(金)

048 (641) 1214

048 (641) 6680 (さわやか相談)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp>

学校教育目標

『人間性豊かな 実践力のある生徒』

- ◆ たしかな学力
- ◆ ゆたかな心情
- ◆ たくましい身体

良い環境をつくろう

校長 小林 正美

令和6年度も10ヶ月が過ぎようとしています。毎日、当たり前になっていることなのですが、感心していることがあります。それは、挨拶と清掃です。毎朝、明るく「おはようございます。」と澁刺と挨拶する生徒の皆さん、廊下を歩いていると「こんにちは。」と挨拶する生徒の皆さん。この人達はきっと学校にみえたお客様にもそうした態度で接してくれているのだと思います。また清掃も与えられた場所を黙々とちり一つなく掃いてふき取っている姿を見ると、さすが大宮北中生だなと感心します。昔から「環境が人をつくる」と言われます。その環境は、山や川や森や野原のような自然を含めた、建物や施設などの物的環境と、家族、友達、先生などのような人的環境とがあります。人間はそのような様々な環境の影響を受けながら成長していきます。



皆さんは、孟母三遷(モウボサンセン)というお話を聞いたことがありますか。中国の故事ですが、孟子という儒学者の母がとった行動のお話です。孟子が幼少のころ、彼の家は墓地のすぐそばにありました。そのためいつも孟子は葬式ごっこをして遊んでいました。孟子の母は、あの子が住むにふさわしい家ではないと考え、引っ越しました。移り住んだところは市場の近くでした。すると、孟子は商人のまねをして商売ごっこして遊ぶようになりました。孟子の母は、ここもあの子が住むにはよくないといって、再び引っ越しをして、学校の近くに住みました。孟子は、学生がやっている祭礼の儀式や、礼儀作法の真似事をして遊ぶようになりました。ここならあの子にぴったりと思いそこに腰を落ち着けることにしました。やがて孟子は、成長すると儒教家を代表する人物になりました。このお話は、人間は物的環境に影響されるというお話です。

もう一つ、人間は自らの力で環境を変えていくことができるということです。特に人的環境は特に大切です。今クラスの状態を皆さん考えてください。まもなく、一年が過ぎようとしています。特に3年生、今それぞれが自分の進路に向かって、頑張っていることと思います。それぞれの進む道はみんな違ってきます。そのような中で、クラスメートに対して、互いに理解し合い、励まし合う雰囲気ができているでしょうか。1・2年生、互いを思いやり協力し合うクラス、できれば来年度もこのままのクラスでいたいという雰囲気ができているでしょうか。このようなクラスづくりを、目指してください。環境は自分たちの手で作りかえることができます。

また、大宮北中学校はとてもきれいな学校であると自信をもって言える人はどれくらいいるでしょうか。年数がたつにつれ校舎等は古くなります。しかし、今あるこの環境をそのまま維持するには、皆さんの心掛けにかかっています。もう一度繰り返しますが、一人一人がしっかりとした考えをもち、互いに固い友情で結ばれ、力を合わせて、すばらしい大宮北中学校をつくり上げていこうとする意思や気力をもてば、そこに好ましい環境が生まれます。先輩たちが築き上げてきた大宮北中学校の伝統を守るためにも、みんなで良い雰囲気・環境をつくっていきましょう。